

宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会会議録

(第1回)

| | | | | |
|--|--|--|-----|------------------------------|
| 第1回 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 坂本 裕子(京都華頂大学 教授) 福田 小百合(京都文教短期大学 准教授) 西 祐子(西大久保小学校 校長) 石原 和彦(笠取第二小学校 校長) 西本 真里(槇島小学校 栄養教諭) | 日 時 | 2022年6月24日(金) 10:00~11:30 |
| | 事務局 | 宇治市教育委員会 岸本教育長、上道副部長、林口教育支援センター長、吉田課長、宮山副課長 | 場 所 | 生涯学習センター 2階 一般研修室 |
| 議題 | 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 委員長及び副委員長の選出 5. 宇治市学校給食の概要及び給食センター方式の特徴について 6. 意見交換 7. 閉会 | | | |
| 協議資料 | 資料1 : 宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会設置要項 資料2 : 検討委員会の会議の公開に関する要項 資料3 : 委員名簿 資料4 : 宇治市学校給食の概要について 資料5 : 給食センター方式の特徴(メリット・デメリット)について 別添資料1: 宇治市中学校給食基本構想 別添資料2: 宇治市立中学校における給食の検討について(報告書) 別添資料3: 平成11年度 学校給食調理民間委託の実施方針 別添資料4: 今後の宇治市学校給食調理業務について(平成24年9月3日) 別添資料5: 宇治市立小学校配置図 | | | |
| 1. 開会 事務局:(あいさつ及び資料説明) 会議録については要点筆記とし、事務局において調整を行い、最終、委員長に確認頂いた上で公開します。録音データは会議録作成後廃棄させていただきますがよろしいでしょうか。<異議なし> | | | | |
| 2. 委嘱状交付 事務局:(説明及び各委員への委嘱状交付) 各委員:(各委員あいさつ) | | | | |
| 3. 教育長あいさつ 事務局:(あいさつ) | | | | |
| 4. 委員長及び副委員長の選出 事務局:「宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会設置要項」第5条及び同条第2項の規定に基づき、委員長を選出したいと存じますが、どなたか委員長へご推薦いただけますでしょうか。 委員:委員長には、食育のご専門であり、中学校給食の検討委員会でも委員長として会を取りまとめいただいた坂本委員が適任かと思えます。<異議なし> 事務局:ご異議ありませんので、坂本委員に委員長をお願いしてよろしいでしょうか。ありがとうございます。 続きまして、副委員長の選出をしたいと存じますが、どなたか副委員長へご推薦いただけますでしょうか。 委員:副委員長には、同じく学識経験者として、食物栄養学をご専門に研究されている福田委員が適任ではないかと思えます。<異議なし> | | | | |

| | |
|-------------------|--|
| 事務局 | 局長：それでは、委員長を坂本委員、副委員長を福田委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。 |
| 5. 宇治市学校給食の概要及び給食 | |
| 委員長 | 局長：事務局より資料の説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料4説明) |
| 委員長 | 局長：内容を振り返らせていただきますと、宇治市の小学校の学校給食は自校方式で実施。中学校給食は今後給食センターを建ててセンターから配送を行う方式で実施予定。なお、小学校は一部山間の学校では他の小学校から配送されています。給食センターは約6,000食調理できる予定で準備をしていますが、児童・生徒数の減少等に伴い、その活用をどうするかというのが検討事項です。一方で、小学校の給食室は3校がドライシステムを導入、その他の17校はドライ運用をしており、給食室の老朽化、ドライシステムの導入等が検討事項になっています。そういった点を踏まえて、センター方式と自校方式の特徴についての資料がありますので、そちらを事務局より説明いただいてからご意見をいただきたいと思ひます。 |
| 事務局 | (資料5説明) |
| 委員長 | 局長：センター方式と自校方式のメリット・デメリットについて説明いただきました。ポイントは、記載のある通り温かさ、触れ合い、食中毒、アレルギー対応等の課題があるということと、合わせてコスト問題、食育をどうしていくかという点についても検討の必要があると思ひます。資料を踏まえてご質問やご意見ありますでしょうか。 |
| 委員 | どういった給食センターをつくるかだけでなく、小学校給食についてよりよい提供方法について検討する会ということで間違いないでしょうか。 |
| 事務局 | その通りです。小学校給食については、将来仮にセンター方式で実施しようとしても、今後建設予定のセンターに小学校給食に対応できる機能がなければできませんので、小学校給食について自校もしくはセンターの併用等、現時点で方針を考えておくという検討になります。 |
| 委員長 | 局長：前回の委員会は中学校給食についての検討を行い、中学校給食については給食センター方式で実施するのが妥当という結論に至りました。今回の委員会は、今後建設される給食センターの有効活用や小学校の老朽化等を踏まえて、小学校給食について総合的にどう考えるのかという趣旨と私は理解しました。 |
| 委員 | この委員会で何か方向性を決定していくということではなく、意見を吸い上げる場ということでしょうか。 |
| 事務局 | そうです。色々な意見を出していただいて、最終委員会として意見をまとめていただき、その内容を踏まえて教育委員会として今後の方針を決定させていただくという流れで考えております。 |
| 委員 | 今私が所属している学校では、調理器具等の不具合はよく耳にしておりますが、調理師との連携の取りやすさ等、自校調理のメリットは感じています。 |
| 委員長 | 委員の学校は親子給食で給食が配送されていますが、どうですか。 |
| 委員 | 配送されてくるとなると、一番気になるのは冷めないかということだと思ひますが、何も問題ないです。小学校給食では、食育とアレルギー対応がセンターでも丁寧に実施できるかがポイントになるのではないかと思ひます。 |
| 委員長 | 温かさについては、食缶、調理器具等の技術の向上によって、委員のご実感にもありますように、今は問題ないかと思ひます。またセンターでは調理器具の進化により、調理がしやすくなっていると思ひます。アレルギー対応については、センターではアレルギーレーンを作って調理を行うので、自校方式よりもコンタミが起こりにくく安全性はかなり高くなるという話があります。ただ配送された後の、配給等は大きな問題だと思ひます。また食中毒については、センターの衛生面は向上しており、食中毒の被害発生は減ってきていると思ひます。小学校と中学校給食の大きく違う点は食育の部分だと認識しているのですが。 |

| | | |
|---|---|---|
| 委 | 員 | アレルギー対応については、現在自校では保護者と綿密に連携を取ってやっているのですが、センターで同じような対応ができるのか不安はあります。 また手作りでおいしくて安全な給食という点でいうと、センターで対象年齢が広がった中で、おいしさとかきめ細やかさ等どうなるのかと思うところがあります。 |
| 委 | 員 | 食育についても、児童と調理師のお互いの顔が見えることはいい教育になっていると感じます。 |
| 委 | 員 | ハード面では、センターになることで大きなマイナスはなく、むしろプラスなのかと思います。 ただ、ソフト面では、今自校方式でしている食育と同等のことがセンターでできるのか、しようと思ったらどんな工夫がいるのか、その整理は必要かと思います。 |
| 委 | 員 | 食育については、現在宇治市は給食室のある学校には栄養教諭もしくは栄養士が配置されています。センターになったときにも、現在と同等数栄養教諭等を配置しないと、今と同じような食育をするのは難しいのではないかと思います。 |
| 委 | 員 | 長：宇治市は食育や栄養士等の配置に力を入れている市町村だと私も思います。 |
| 委 | 員 | 今、自校でされていてメリットと感じておられるようなことを、センターになってもできるのか、またはそれに代わるものがあるのか、方法はどのようにするのかという点について、もっと現場の方から意見を聞きたいと思いました。 |
| 委 | 員 | センターとなると、どうしても距離があります。いいセンターが建設されるし、小学校の施設は老朽化しているから、センターにしようというのは何となく結論が早いというか、そういう話にはならないのではないかと思います。 |
| 委 | 員 | 長：市としては、予算、児童数の減少、施設の老朽化といった問題を考えたときに、今後建設されるセンターを活用していきたいということだと思います。 登校時に納入業者が重なるといった点などはどうですか。 |
| 委 | 員 | 私がいる学校では正門と裏門があり、特に問題はありませんが、他の学校はあるのかもしれないです。 |
| 事 | 務 | 局：学校によって敷地の大きさが違うので、余裕があるなしは差があると思います。 |
| 委 | 員 | 安心安全で子どもたちによりいいものとなると、自校ドライシステムが一番いいですが、お金がというところなんです。 |
| 事 | 務 | 局：老朽化やお金について、今の事情等について資料を出したいと思います。 |
| 委 | 員 | もう一つ、気になるのが統一献立です。統一献立でセンターと自校ともにやっている市町村はありますか。 |
| 事 | 務 | 局：統一献立については、工夫が必要なところで課題があると認識しています。今後他市の状況について調べたいと思います。 |
| 委 | 員 | センターと自校を統一献立にすると足を引っ張りあうことになって、それぞれの良さが出せなくなるのではと思っています。ただセンターと自校を別献立にすると差が出てくるので、難しい課題だと思っています。 |
| 事 | 務 | 局：現在でもドライシステムを導入している小学校では調理できる献立を、他の学校では実施できない状態ではあります。今後センターと自校で献立をどうしていくかを考えるにあたっては、いいところをどう採用するのか、献立の作成をそもそもどうするのかというところを今以上に考えていく必要があると思います。 |
| 委 | 員 | 長：中学校給食はセンターで質のいい給食が提供されるということになりますが、その余剰を小学校にと考えたときに、統一献立をどうするか、食育やアレルギー対応といった小さい子どもに対する配慮が十分に行き渡るかというところが大きな問題になります。また栄養教諭さんのやりがいや指導がどういう風に行けるかについても検討課題です。 |
| 事 | 務 | 局：食育の話ですが、今小学校では栄養教諭、栄養士、先生が一緒になって子どもたち、保護者も含めて食育をしてもらっているところですが、今後保護者を巻き込んだ子どもたちへの食育を、建設するセンターであれば工夫したらできないか、ご意見いただければありがたいと思っています。 |

| | |
|-------|--|
| 委 員 | 員：保護者と連携してという、以前にいた学校では、親子料理教室をしていました。子どもたちと話していても、食事に対する意識が各家庭によって全然違うと感じていて、その点給食はみんなが一緒においしく味わうことができるので、価値のある時間だと思っています。 |
| 委 員 | 員：ただ給食を作る場所というセンターのイメージを持っていると、今やっている食育ができなくなるという意見が当然出てくると思います。そうではなくプラスアルファの機能、今やっていることがそこに行くことによって、さらにできるような、そういうセンターの在り方を考えられるといいのかなと思います。 |
| 事 務 局 | 局：センターの整備は、これから中身を考えていく時期です。この検討委員会でいただいているご意見も踏まえてデザインを考えていかなければならないと思っておりますので、自校なのかセンターなのかという議論と合わせて、仮に小学校にセンターから給食を提供するならば、こんなことができるセンターにしてほしいといったご意見もお伺いできればと思います。 |
| 委 員 長 | 長：議論は始まったばかりなので、委員の先生方もセンターは中学校給食のものという意識があって、小学校とうまくリンクできていないところだと思います。今後は、現状小学校の食育はどういうことをして、今後も継続していく必要があるのか、センターでもこういう活用ができるのか、いろんな可能性を考えておくことは重要だと思います。 |
| 事 務 局 | 局：今日の検討で、色々なヒントをいただいていると思います。ただ、まだわからないことが多いと思いますので、栄養教諭の配置状況など次回の検討の際に資料として用意させていただきたいと思います。 |
| 委 員 長 | 長：色々なご意見をいただきました。次回に向けて検討事項、宿題等出てきたと思いますので、第1回の委員会は終了させていただきます。事務局の方から、最後に何かありましたらお願いします。 |
| 事 務 局 | 局：本日は、お忙しい中、色々議論いただきました。必要な資料についてはできる限り用意させていただいて、何よりも子どもたちにとってより良い給食の在り方はどういうことか議論していただければと思いますので、宜しくお願いいたします。 |
| 委 員 長 | 長：ありがとうございます。それでは、これをもちまして閉会させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。 |